TSKgel AFC系カラム

高性能アフィニティークロマトグラフィーカラム

TSKgel® Protein A-5PW



TSKgel Protein A-5PWは多孔性の親水性ポリマー基材に、遺伝子組換えProtein Aを導入した充塡剤を充塡したアフィニティークロマトグラフィーカラムで、IgGの高速・高精度分析が可能です。

特長

- 粒子径20 µmの基材は機械的強度が高くIgGの高速分析が可能です (標準流速2.0 mL/minで分析時間が2 min、4.0 mL/minでの分析も可能)。
- IgGの吸着容量が高く、広い定量範囲を有します (IgG濃度: 0.1 ~ 10 g/L)。
- 耐久性が高いカラムです (CHO細胞培養液上清を2,000回以上連続注入してもカラム性能を維持します)。
- カラム部材にPEEKを用いており非特異的吸着が少ないカラムです。
- 分離精製担体TOYOPEARL® AF-rProtein A HC-650Fと同じリガンドを導入しているため 同様の分離選択性を有します。

主な対象物質・用途

対象物質 ○ IgG

用途 ● CHO細胞培養液上清中のIgGの定量 ● 培養条件の検討 ● 製造工程管理

製品一覧

○分析カラム

品番	品名	粒子径 カラムサイズ		価格
0023483	TSKgel Protein A-5PW	20 µm	4.6 mm I.D. × 3.5 cm	140,000円

※ガードカラムはありません。インジェクタとカラムの間にラインフィルタ (品名:ラインフィルタキットPEEK、品番:0018014)を取り付けることをお勧めします。

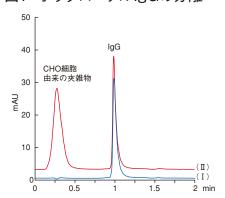
基本特性

● 充塡剤・カラムの特性

品名	TSKgel Protein A-5PW	
基材	多孔性の親水性ポリマー	
粒子径	20 μm	
細孔径	100 nm	
リガンド	遺伝子組換えProtein A	
カラムサイズ	4.6 mm I.D. × 3.5 cm	
カラム部材	PEEK	

応用例

● 図1 ポリクローナルIgGの分離



<測定条件>

カ ラ ム:TSKgel Protein A-5PW(4.6 mm I.D. × 3.5 cm) 溶離液 A:20 mmol/L りん酸ナトリウム緩衝液(pH 7.4) B:20 mmol/L りん酸ナトリウム緩衝液(pH 2.5)

溶離液切替:0 → 0.5 分 溶離液A

0.5 → 1.1 分 溶離液B

1.1 → 2.0 分 溶離液A (再平衡化)

(ポンプとインジェクタとの間にスタティックミキサ(容量10 μ L)を装着)

流 速: 2.0 mL/min 検 出: UV (280 nm)

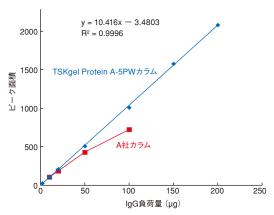
温 度:25℃ 注入量:20 µL

試 料:(I)0.5 g/LポリクローナルIgG(溶離液Aに溶解) (II)0.5 g/LポリクローナルIgGを含むCHO細胞培養液上清

CHO細胞培養液上清中のIgGが短時間で分離可能です(分析時間2分)。

応用例

● 図2 IgGの検量線



<測定条件>

(1) TSKgel Protein A-5PW (4.6 mm I.D. \times 3.5 cm)

【試料を除き、図1と同じ】

試 料: 0.1 ~ 10 g/LポリクローナルIgG (溶離液Aに溶解)

(2) A社カラム (4.0 mm I.D. × 3.5 cm, PEEK) 【溶離液と溶離液切替条件を除き(1)と同じ】

溶離液 A:20 mmol/L りん酸ナトリウム緩衝液 + 0.15 mol/L NaCl (pH 7.4)

B: 20 mmol/L りん酸ナトリウム緩衝液 + 0.15 mol/L NaCl (pH 2.5)

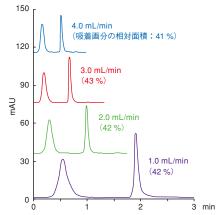
溶離液切替:0 → 0.2 分 溶離液A

0.2 → 1.2 分 溶離液B

1.2 → 2.0 分 溶離液A (再平衡化)

TSKgel Protein A-5PWは広い定量範囲と直線性を有します (IgG:0.1~10 g/L、R²=0.999以上)。

● 図3 分離に対する流速の影響



<測定条件>

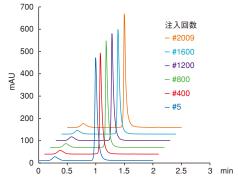
流速と溶離液切替条件

流速	溶離液A	溶離液B	溶離液A
1.0 mL/min	0→1.00分	1.00→2.20分	2.20→4.00分
2.0 mL/min	0→0.50分	0.50→1.10分	1.10→2.00分
3.0 mL/min	0→0.33分	0.33→0.73分	0.73→1.33分
4.0 mL/min	0→0.25分	0.25→0.55分	0.55→1.00分

試 料: モノクローナルIgG (0.5 g/L) を含むCHO細胞培養液上清【その他の条件は図1と同じ】

高速分析が可能です(4.0 mL/minで分析時間1分)。

● 図4 連続注入試験時のクロマトグラム

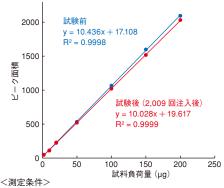


<測定条件>

【試料を除き、図1と同じ】

料:10 g/LポリクローナルIgGを含むCHO細胞培養液上清

● 図5 連続注入試験前後のIgGの検量線



<測定条件> 【試料を除き、図1と同じ】

試 料: 0.1 ~ 10 g/LポリクローナルIgG (溶離液Aに溶解)

耐久性が高いカラムです(試料の注入が2,000回以上でもクロマトグラム、検量線が変化しません)。



※"TSKgel"、"TOYOPEARL" は日本における東ソー株式会社の登録商標です。 ※掲載のデータ等はその数値を保証するものではありません。 お客様の使用環境・条件・判断基準に合わせてご確認ください。

東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部

東京本社 営業 部 ☎(03) 5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2 大阪支店 バイオサイエンス ☎(06) 6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9 名古屋支店 バイオサイエンス ☎(052) 211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7 福岡支店 ☎(092) 781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2 仙台支店 ☎(022) 266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1 山口営業所 ☎(0834) 63-9888 〒746-0015 山口県周南市清水1-6-1 カスタマーサポートセンター ☎(0467) 76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1

お問合わせe-mail hlc@tosoh.co.jp

バイオサイエンス事業部ホームページ http://www.separations.asia.tosohbioscience.com/